

とともい、いのまらび

私たちはさまざまな人たちとともに生きています。

「住み続けたいまち」西条をみんなで実現するためには、互いの個性を認め合える社会づくりがととても大切。今月の特集では、市内の中学校が取り組んだ性的マイノリティ教育を取材しました。これをきっかけに、多様性について知り、考えてみませんか。

マイノリティって なんだろう？

右利きですか？
左利きですか？

スマートフォンと
ガラケー、どちらを
使っていますか？



地図を読むのが
得意ですか
苦手ですか？



飲み会は好きですか、
嫌いですか？



車の免許を持つのは
当たり前ですか、
そうとは思わないですか？



結婚するのが当たり前と
思っていますか、
そうではないですか？



そうか、

誰もが何かの マイノリティ。

それぞれの個性なんです

誰だってマイノリティになる

最近、「LGBT」という言葉をメディアなどで目や耳にする機会が増えてきたと思いませんか。LGBTは、性的マイノリティ（少数者）を総称する言葉の一つで、調査によると、自分はLGBTと回答した人は、日本には全人口の3〜10%（※）いるといわれています。性に限らず、社会の中では誰もがマイノリティとなりえます。例えば左利きがいじめの対象になるとすれば？ 背が高いと排除されるとしたら……？ 自分がどんな分野のマイノリティでも、マイノリティであることを意識せず、安心して暮らせる

人間の性のあり方は人それぞれ

身体で決める男女。それだけではない

生物学的に男と女は決められていますが、それだけではない性のあり方があります。

ありたい性別や好きになる性別など、

人の数だけ、自分らしさの形があっ**ていい**のです。



皆それぞれ
ちがっていいよね

自分が思う性は いろいろ

男の人でも女の自分が、女の人にも男の自分があるかもしれません。身体の性に違和感を感じている人もいます。生まれたときに決められた身体の性別に合わせて生きることが大変な人もいます。

好きになる性別も いろいろ

人は異性に恋愛するとは限りません。異性愛の人だけでなく、同性愛もあれば、相手の性別を問わない人、男女どちらにも恋愛感情を抱かない人もいます。

表現する性も いろいろ

服装や言葉遣い、態度など、男は男らしく、女は女らしくとされると自分らしく生きられずに苦しむ人もいます。

LGBT(Q+)って？

- L** レズビアン（女性の同性愛者）…女性として同性に恋愛感情や性的魅力を感じる人
- G** ゲイ（男性の同性愛者）…男性として同性に恋愛感情や性的魅力を感じる人
- B** バイセクシュアル（両性愛者）…異性と同性に恋愛感情や性的魅力を感じる人
- T** トランスジェンダー…出生時に割り当てられた性別とは異なる性別を生きる人（性同一性障害を含む）
- Q** クエスチョニング…自身の性自認や性的指向が定まっていない、もしくは意図的に定めていない人
- +** 他者に対して恒常的に恋愛感情や性的欲求を抱かないアセクシャルや、性別を男や女に限定したくない・できない・分からないと感じているX（エックス）ジェンダーなどさまざまなセクシュアリティがあります。

世の中がいいと思いません。見えない＝いいのではない。上にあるように、人間の性（セクシュアリティ）はいろいろあって、これは、それぞれの個性であるといえます。また、「LGBT」は性的マイノリティを表現する例ですが、誰かを当てるための枠組みでもありません。

誰もが安心していられるように

人権と聞いて、自分とは遠い話題と思う人もいるかもしれません。しかし、世の中には、部落差別、障がい者差別、ジェンダー（社会的・文化的につくられる性別）に対する偏見など、人権に関するさまざまな課題があります。

丹原東中学校の学級だよりには「人権学習は、人権問題に出会ったときに、正しい行動がとれ、差別者にならない自分になるための学習」とあり、「正しい知識を身に付けること。自分に何ができるか考えること。学習したことを家族と話すこと。みんなが行うことで、小さな力がやがて大きな力になっていく」と続きます。これを機会に、みんなで一緒に学んでいきませんか。

いろんな人、いろんな生き方。

丹原東中学校は文部科学省の指定を受け、「性的少数者をテーマに掲げた人権教育」という全国初の取り組みを平成26(2014)年度から2年間行い、今も学びを続け、地域や他校へ広げています。教育に携わった皆さんにお話を伺いました。

丹原東中を経験した先生たち



藤友 弘子さん

西条西中学校教諭。丹原東中に2012～2018年度に勤務。人権啓発劇のシナリオを多数手掛ける。

武田 志津さん

河北中学校教諭。丹原東中に2014～2016年度に勤務。性的マイノリティの方とのつながりを教育現場に生かしている。

山本 美保さん

西条西中学校教諭。丹原東中に2016～2019年度に勤務。丹原東中では制服検討委員会を担当。

神野 雅彦さん

丹原東中学校教諭。同校勤務9年目。人権・同和教育の推進に関わってきた。

西条市に性的マイノリティの人はいない!?

この特集を読む多くの方が、性的マイノリティの人たちに出会ったことがないという印象ではないでしょうか。性のあり方というのは、必ずしも目に見えるものではありません。カミングアウト(公表)ができない・するを選ばない方はとても多く、家族にも打ち明けないことが多いです。

性的マイノリティの方は日本の全人口の3～10%

正しいことを知り、行動へ

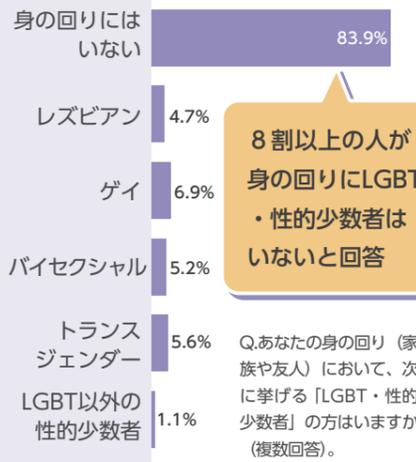
この課題のことは、ずっと気になりながら何もできずにいました。7年前、文科省から人権教育の研究指定を受け、レインボープライド愛媛の協力のもと実践の機会を得ました。後任の岸田校長や先生方、生徒たちの熱心な取り組みのおかげで学びが今に続いています。知識を正しいものに更新し続け、傍観者ではなく行動することが重要だと考えています。

渡部 敏文さん

丹原東中学校元校長。性的マイノリティ教育に学校をあげて取り組むことを決めた人。



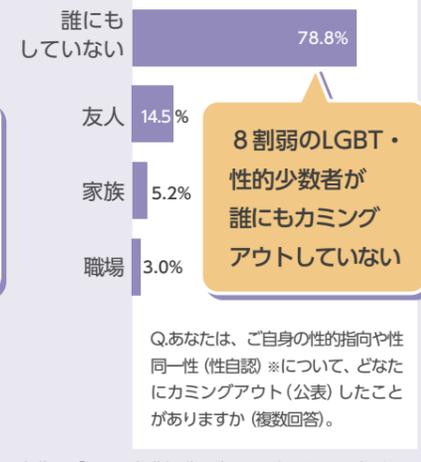
LGBT・性的少数者に対する存在認識



8割以上の方が身の回りにLGBT・性的少数者はいないと回答

Q.あなたの身の回り(家族や友人)において、次に挙げる「LGBT・性的少数者」の方はいますか(複数回答)。

LGBT・性的少数者のカミングアウト率



8割弱のLGBT・性的少数者が誰にもカミングアウトしていない

Q.あなたは、ご自身の性的指向や性同一性(性自認)※について、どなたにカミングアウト(公表)したことがありますか(複数回答)。

出典：「LGBT意識行動調査2019」LGBT研究所調べ

性的マイノリティの方は、もともと少数である上に、大半の方が周辺に公表していません。だから自分の周りにはいないように感じられてしまうのです。また、言いにくい雰囲気があるから、言えないのかもしれない。西条市が、公表しても、少なくとも居心地のよいまちなるといいですね。



生徒たちは「性の多様性を認めるポスター」を少年式の記念行事として小学校にも展開

生徒の意見

アンケート結果を見ると、若者は高齢者より同和問題に対する認知度は低いが「自分の子どもが結婚したい相手が被差別部落でも気にしない」と回答する割合は、若者の方が多くなっている。これは一見好ましく取れるが「よく知らないから気にしない」というのではダメだと思う。ちゃんと知ったうえでそう言えなければ意味がないと考える。(丹原東中学校3年生「道徳ノート」より)

初めて、しっかりと学ばなければと思いましたが。教員の中に、大人になって戸籍の性別を変更した生徒がいます。在学中には、私はこの学習をしていなかったのですが、自分の言動で傷つけたことはなかっただろうか振り返りました。

山本 丹原東中に赴任当初はみんなの学びのレベルに付いていけなかったけど、資料作成や制服見直しのための検討委員会を担当する中で、私は自身は学んでいったという感じです。

神野 この学習を始めた当時の渡部校長は、以前からマイノリティに目を向けた取り組みをし、クラス名簿を男女混合にしました。その思いを引き継ぎ、体育館での並び順を男女混合の五十音順にし、委員会のメンバーも男女で分けて募集しなくなりました。

生徒たちから学ぶことはありませんか。

武田 教わることは多いです。つい先日、「重い荷物は男子が運んでくれるー?」と呼び掛けるとき、「先生、それはいかんでしょ」と指摘されました。男子力仕事で得意とは限らない。「重い物を運んでくれる人ー?」が良かったですね。

藤友 この学習の一番最初の授業で生徒に同性愛がテーマのDVDを見せたのですが、私たちは、生徒がどういう反応をするんだろうとかなり心配でした。でも、彼らは終始真剣なまなざしで、ずっと内容を受け入れました。偏見を持っていたのは大人たちだ……と思われ知りました。

神野 西条市の人権アンケートの結果を教材に同和問題学習をしたときも、生徒の意見は、本当に鋭かったです。生徒の感性は、本当に鋭い

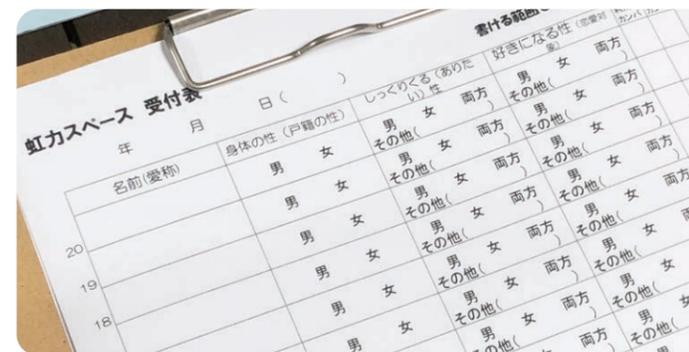
性的マイノリティに関する教育の指導者として、皆さんはどのように学び、ご自身が変化されましたか。

神野 当初は正直他人事のように。自分が変わったのは文化祭での人権啓発劇です。自分も劇に出演することになり、せりふを覚えるうちに考え方が浸透し、自分が過去に取った差別的な行動を反省することもありました。授業はLGBTの団体から出ている資料やDVDを生徒たちに見せて感想を書いてもらうなど。さらには生徒たちが地域の会にも出向き、学習したことを地域の大人たちに伝えていきました。

藤友 7年前、学習を始めたころ、教員たちでレインボープライド愛媛(性的マイノリティ人権啓発NPO)に初めて行ったときのことです。こちらの受付名簿には、「身体の性」「心の性」「好きになる

性」の欄があって、それぞれに「男・女・その他」という選択肢があったんです。それまで性別は「男・女」でしか尋ねられたことがなかったもので、衝撃を受けました。しかも、性的マイノリティの方は13%の割合で存在する(※)という事実を知って、全く「目からうろこ」という感じでした。こんなに知らないことばかりの自分が、これまでどれほどの生徒を傷つけてきたんだろうと思いました。差別は、今こそ、自分の中にあると実感しました。

武田 私も最初は理解が追いつきませんでした。レインボープライド愛媛代表のエディさんとお会いして、



レインボープライド愛媛の「虹カスペース」(松山市)の受付表。現在の記入例をもとにすると単純計算でも2×4×4=32通りの性がある

※性的指向(Sexual Orientation)や性自認(Gender Identity)の英語の頭文字をまとめてSOGIと表現することがありますが、これは世の中の人全員にあるもので、全ての人のSOGIを尊重することが大切です

※2ページで紹介した調査の一つの結果。さまざまな調査が実施されていて、割合は少しずつ異なります

上書きしよう、わたしの“ふつう”を

一人一人が自分らしく生きられるまちづくりのために、まずは正しい知識を知ることが大事です。性のあり方についても同じで、それぞれの個性として尊重できるようになりましょう。

まず心にとめたい五つのポイント

同性愛は病気ではありません

世界保健機関（WHO）では平成2（1990）年に同性愛を治療対象となる障がいから削除しましたが、いまだに同性愛が精神疾患だとの誤解や偏見があります。性的指向（自分にとって恋愛や性愛の対象となる性別は何か）は、変えられないその人固有のものであり、他人が侵すことはできません。

変えさせる必要はありません

性的指向や性自認はその人を形作る大切な個性です。無理に変えさせようとすると、その人の大切な個性や自尊心を壊すことになってしまいます。それぞれの性のあり方を尊重しましょう。

誤解や偏見を改めましょう

過去には、同性愛や性別違和について、異常な性癖や趣味、性倒錯とされたこともあり、根深い偏見や誤解があります。これは、間違った認識なので改めていかなければいけません。

性別違和(性同一性障害)について

性同一性障害とは、身体の性を自分が望む性に近付けるために「ホルモン治療」や「性別適合手術」などの医療を求める状態を指す医学的な診断名です。一定の条件を満たすと家庭裁判所の審判を経て、戸籍の性別変更が認められますが、性別違和の全ての人が戸籍の性別変更や医療を求めているとは限りません。戸籍上の性別が変更されていなくても、また性同一性障害の診断がなくても、その人の人格を否定することにならないよう、性自認（自分自身の性の認識）は尊重されなければいけません。

当事者探しをしない、嘲笑の対象にしない

誰がLGBTであるかを詮索するような話題はやめましょう。本人があなたにカミングアウトしても、あなたが自由に誰かに広げていいわけではありません。当事者を大変追い込むことになるので許可なく伝えないようにしましょう。クラスや職場などで話題にして笑いを取るうとしたり、からかったりするの絶対にやめましょう。

出典：愛媛県 人権啓発センター LGBT電話相談 チラシ

LGBTでない方も相談できますよ

愛媛県 LGBT電話相談

2020年に愛媛県が開設した電話相談窓口です

相談無料

匿名でOK

秘密は守られます

070-4286-0409

※通話料がかかります

相談日時

毎月 第2月曜日・第4日曜日

18:00~21:00 (最終受付：終了20分前まで)

詳しくはこちら▶



ひとりひとりが「自分が自分のままでいい」と感じられる、ふるさと西条を

最後に、レインボープライド愛媛代表エディさん（活動名）にコメントをいただきました。

愛媛でもたくさんLGBTの当事者たちが暮らしています。大半の人はオープンに生きることができません。変に思われて職場や学校・地域から排除されたくない、自分自身のこと家族に迷惑を掛けられないと悩んで言えないのです。LGBTへの誤解や無理解が解消してもらえたらと願いつつも諦めて生きる力が強さだと思えなかったとき、丹原東中の皆さんが全国に先駆け、学校を上げて性的マイノリティの学習に取り組んでくれました。希望をみた思いでした。西条発であったことは、市民の皆さんにとっても誇れるものではないでしょうか。

いろんな人がともにこのまちで暮らしています。性的マイノリティのことをきっかけにして、ひとりひとりの内面の部分もそれぞれに尊重され、自分が自分のままでいいんだと感じられるふるさとになっていくといいですよ。

レインボープライド愛媛
詳しくはこちら▶



①丹原東・西条南・西条西中の3校がWeb授業でともにさまざまな人権のテーマを学習 ②いじめを主題にした丹原東中の人権啓発劇 ③生徒たちも参加する地区別懇談会（田野地区）。性的マイノリティをテーマに地域の人たちと意見交換する様子 ④丹原東中の新制服。スカートとスラックスから選べるようになった ⑤2021年春から刷新される丹原高校の制服。改訂のきっかけを作った丹原東中の卒業生で丹原高校生徒会長を務めた渡部 楓花さん（現在大学生）は「制服改訂によって丹高生のより良い高校生活を実現したいという思いがありました」と語る



西条西中の取り組みの様子。上/小地域懇談会（橘地区）で生徒たちが発表 下/文化祭での人権啓発劇「つなぐ」。ハンセン病問題と性的マイノリティのテーマをつないだもの

すよ。

一つの人権課題を深く学ぶことで、ほかの課題も深く理解できるようになるということでしょうか。

神野 多様性がキーワードで、生徒同士お互いを認め合えるようになりました。ある生徒からは「正直、性的マイノリティのことをしっかりとやったら、ほかの人権課題も真剣に取り組みうと思えた」と。

藤友 一つをしっかりと学び行動する中で、生徒は課題解決力を身に付けます。意見の違う他者にどう伝えるのか、どう折り合いをつけるかを考えながら実践しますから。性的マイノリティをテーマに学ぶと、生徒は自分のこととして考えやすいようです。そしてその学びは、必ず他の課

題の学習に生かされます。就職差別の授業でも「履歴書に、性別も住所も写真もいらない。その人の能力や人柄で選べばいい」と言い切れる生徒になります。

武田 実際、男・女どちらかに100%振れている人のほうが少ないですからね。例えば、身体の性別に関係なく、ピンクでも水色でも選んで構わない学校が当たり前になるべきです。

山本 何事も、生徒主体で考えていましたよね。生徒が自分たちの学びを生活に結びつけて考える力を持つていくなつたから、当たり前と思っていた学校生活にも自然に目を向けられたのだと思います。制服に関しても、自分たちの学校生活をより良くしようとする思いが原動力と

なり、私たち教員は具現化のサポートをしたにすぎません。

神野 当校の制服は、今年からスカート・スラックスの選択が自由になったことで、両方とも購入している生徒もいます。

制服刷新の背景は、性的マイノリティへの配慮だけと勘違いされがちですが、防寒や、色や形の好み、お下がりがあるなどで、本当にさまざまな理由が制服選びの基準。やって良かったと感じています。

新型コロナウイルスやジェンダーなど、他にもさまざまな人権課題があります。

藤友 どんな課題においても大事なのは「正しく知る・仲間を作る・行動する」の三つです。まずは正しい知識を得ることで、自分の考え方の軸ができてきます。

コロナ禍の今は、全世界が人権に着目していますよね。ここで人々がきっちり向き合えば、社会全体の人権意識がぐっと上がっていくようになるのではないのでしょうか。教育現場は今、世代交代の時期でもありません。次の世代が動けるようにしていくのも、私たちの使命です。

神野 僕たちが、しっかりと次に伝えていきたいと思います。

最後に、レインボープライド愛媛代表エディさん（活動名）にコメントをいただきました。